



九州大学

九州大学広報室

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

TEL:092-802-2130 FAX:092-802-2139

MAIL:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL:http://www.kyushu-u.ac.jp

PRESS RELEASE (2014/05/19)

九大特注白磁の謎「うつわと九大」展 福岡ミュージアムウィーク 2014 参加企画 特別展示

概要

九州大学箱崎キャンパス・病院キャンパスから出土した陶磁器類や箱崎キャンパス内で収集された磁器の展示を行うとともに、これらの器から復元された九州大学の設立経緯、近代の陶磁器の流通、戦時中の統制経済など明らかになった点について解説パネルを展示します。

背景

2011年に九州大学は100周年を迎えました。この100年間は膨大な記録資料、写真映像資料、聞き取り資料などの情報が溢れていますが、発掘資料を通じて九州大学の100年を振り返ると、違った側面も見ることができます。この度、「福岡ミュージアムウィーク 2014」^(*) 参加企画特別展示として、本学キャンパス内から出土した陶磁器などを展示する「うつわと九大」展を開催する運びとなりました。今回展示する陶磁器は病院キャンパスを中心に出土した発掘資料です。これらの資料を調べると九州大学の設立経緯や、近代の陶磁器の流通、戦時中の統制経済のことなど様々なことがわかりました。

内容

九州大学キャンパス内出土資料の展示およびその出土資料を調査した結果明らかになった内容についての解説パネルを展示しています。また、九州大学キャンパス内収集食器類についても展示を行っています。

- ・日時：平成26年5月16日（金）～6月30日（月） 10:00～16:30
（土日休館、但し「福岡ミュージアムウィーク 2014」期間中の5月17日（土）、18日（日）、24日（土）、25（日）は開館）
- ・主催：九州大学アジア埋蔵文化財研究センター・九州大学総合研究博物館
- ・場所：九州大学箱崎キャンパス 旧工学部本館3階 九州大学総合研究博物館常設展示室

効果

今回展示している九州大学構内で発掘された資料は、元々構内に廃棄されたものです。しかし、これらの資料に関して分析を進めることで大学の歴史を明らかにするのみではなく、近代の生産・流通を物語る諸様相を明らかにすることができます。考古学の基本的な研究手法を用いて、廃棄された資料が歴史を語る史料になる過程を感じていただければ幸いです。

今後の展開

九州大学の長い歴史の中で、構内に廃棄された資料や大学構内遺跡出土資料の数は多く、それらは歴史復元の史料としての潜在性を秘めています。これらの史料を研究・展示に活用していくことも大学の使命と考えており、一般市民の皆様に理解していただければ大変幸いです。

※「福岡ミュージアムウィーク 2014」Web サイト
<http://f-museum.city.fukuoka.lg.jp/museumweek>

【お問い合わせ】

総合研究博物館 助教 舟橋 京子（ふなはし きょうこ）

電話：092-642-4288

FAX：092-642-2522

Mail：funahasi@museum.kyushu-u.ac.jp

うつわ と 九大



期 間：2014 年 5 月 16 日 (金) ～ 6 月 30 日 (月)

場 所：九州大学箱崎キャンパス
旧工学部本館 3F 九州大学総合研究博物館常設展示室

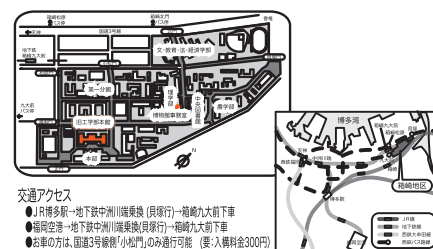
開館時間：平日 10:00～16:30 (土日・祝日は休館)
ただし、福岡ミュージアムウィーク 2014 期間中の 5/17 (土)、18 (日)、24 (土)、25 (日) は開館

主 催：九州大学アジア埋蔵文化財研究センター・九州大学総合研究博物館

協 力：九州大学埋蔵文化財調査室・九州大学大学文書館

お問合せ：九州大学総合研究博物館事務室 092-642-4252
<http://www.museum.kyushu-u.ac.jp/>

写真出典 右上：福岡医科大学正門、『写真集 九州大学史 1911-1986』より引用・改変
右中：医学部正門(昭和3年竣工)、同上



交通アクセス

- JR博多駅→地下鉄中洲川端駅(東横線)→箱崎九大前下車
- 福岡空港→地下鉄中洲川端駅(東横線)→箱崎九大前下車
- 右車の方は、国道3号線沿「小松門」のみ通行可能 (要：入場料金300円)



九州大学総合研究博物館
The Kyushu University Museum



碗・蓋

「大學」、「醫院」の2つの印が重なっている。入院患者の食器に用いられたのか？



ガラス瓶 1

瓶の肩部に「DNB」、下部に「大日本麥酒株式會社製造」の陽刻(エンボス)あり。



皿

皿の外側と内側に「大學」「醫院」の2つの印がある。



ガラス瓶 2

瓶の肩部に「BNK」、下部に「日本麥酒鑛泉株式會社製造」の陽刻(エンボス)あり。



小鉢・小蓋

碗や皿と同様に、「大學」「醫院」の2つの印が重なっている。



ガラス瓶 3

瓶の肩部に「KRIN BREWERY CO.,LTD.」の陽刻(エンボス)あり。



“2つの斧を重ね合せたマーク”

碗の底にマークがある。マイセンを真似たものか？



強力わかもと瓶

瓶の側面に「Wakmoto」、頸部にひらがなで「わかもと」の陽刻(エンボス)あり。



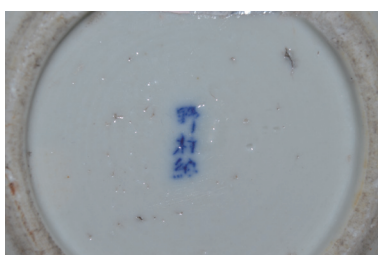
“有田製”

小鉢の底に、手書きで「有田製」とある。



収集食器 1

農学部で来客や教授会の際に実際に使用された食器。校章や「農学部」の銘が入る。



“野村納”

碗の底に、「野村納」と書かれている。詳細は不明である。



収集食器 2

印刷所として使用された建物で収集された食器。皿の底部には製造会社のマークが入っている。



“岐 122”

いわゆる統制陶器と呼ばれるもの。底に「岐 122」の統制番号がある。